

令和5年度

決算の概要

(公共下水道事業会計 抜粋)



綾瀬市

◆ 公共下水道事業会計

1 決算の状況

(予算区分ごとの消費税込みの決算額)

(1) 収益的収入及び支出

収益的収入

(単位：千円（消費税込）・％)

区分	令和5年度		令和4年度		比較	
	決算額	構成比	決算額	構成比	増減	増減率
第1款 下水道事業収益	2,678,235	100.0	2,911,134	100.0	-232,899	-8.0
第1項 営業収益	1,359,264	50.8	1,359,769	46.7	-505	0.0
第2項 営業外収益	1,318,971	49.2	1,551,365	53.3	-232,394	-15.0

収益的支出

(単位：千円（消費税込）・％)

区分	令和5年度		令和4年度		比較	
	決算額	構成比	決算額	構成比	増減	増減率
第1款 下水道事業費用	2,240,288	100.0	2,337,959	100.0	-97,671	-4.2
第1項 営業費用	2,110,376	94.2	2,155,598	92.2	-45,222	-2.1
第2項 営業外費用	129,897	5.8	182,354	7.8	-52,457	-28.8
第3項 特別損失	15	0.0	7	0.0	8	114.3
第4項 予備費	0	0.0	0	0.0	0	0.0

収益的収入については、営業外収益は一般会計の基準外繰入金の減の影響で**2億3千万円**の減となっています。

収益的支出については、営業費用は相模川流域下水道維持管理負担金及び経営戦略策定事業の減の影響で**5千万円**の減、営業外費用は支払利息及び消費税の減の影響で**5千万円**の減となっています。

(2) 資本的収入及び支出

資本的収入

(単位：千円（消費税込）・％)

区分	令和5年度		令和4年度		比較	
	決算額	構成比	決算額	構成比	増減	増減率
第1款 資本的収入（A）	1,786,112	100.0	1,139,303	100.0	646,809	56.8
第1項 企業債	672,000	37.6	476,700	41.7	195,300	41.0
第2項 他会計出資金	33,460	1.9	35,250	3.1	-1,790	-5.1
第3項 他会計負担金	36,316	2.0	48,447	4.3	-12,131	-25.0
第4項 国庫補助金	1,043,228	58.4	307,082	27.0	736,146	239.7
第5項 負担金等	1,108	0.1	2,894	0.3	-1,786	-61.7
他会計補助金	0	0.0	268,930	23.6	-268,930	-100.0

資本的支出

(単位：千円（消費税込）・％)

区分	令和5年度		令和4年度		比較	
	決算額	構成比	決算額	構成比	増減	増減率
第1款 資本的支出（B）	3,148,466	100.0	2,082,101	100.0	1,066,365	51.2
第1項 建設改良費	1,995,768	63.4	812,046	39.0	1,183,722	145.8
第2項 企業債償還金	1,152,698	36.6	1,270,055	61.0	-117,357	-9.2

(B) - (A) 不足額	1,362,354	-	942,798	-	419,556	44.5
---------------	-----------	---	---------	---	---------	------

資本的収入**17億9千万円**は、建設改良事業に充てる企業債や国庫補助金、一般会計出資金及び企業債元金償還に充てる一般会計負担金で構成されています。

資本的支出**31億5千万円**は、建設改良事業に要した費用及び企業債の元金償還金で構成されています。企業債残高の減少により、企業債償還金額は年々減少しています。

結果、資本的収入が資本的支出に対して**13億6千万円**不足しています（→3. 補填財源を参照）。

2 損益計算書の概要

(1年間の経営成績)

(単位：千円(消費税抜)、%)

	令和5年度	令和4年度	増減額	増減率
A 営業収益 (下水道使用料等)	1,241,931	1,242,564	△ 633	-0.1
B 営業費用 (維持管理費、減価償却費等)	2,051,532	2,091,489	△ 39,957	-1.9
C 営業利益もしくは損失 (A - B、損失の場合△)	△ 809,601	△ 848,925	39,324	-4.6
D 営業外収益 (長期前受金戻入等)	1,297,302	1,551,362	△ 254,060	-16.4
(うち、基準外繰入金)	342,157	598,226	△ 256,069	-42.8
E 営業外費用 (支払利息等)	131,425	158,976	△ 27,551	-17.3
F 経常利益もしくは損失 (C + D - E、損失の場合△)	356,276	543,461	△ 187,185	-34.4
(基準外繰入金を除いた場合)	14,119	△ 54,765	68,884	-125.8
G 特別利益	—	—	—	—
H 特別損失	14	7	7	100.0
当期純利益 (F + G - H、損失の場合△)	356,262	543,454	△ 187,192	-34.4

営業収益**12億4千万円**から営業費用**20億5千万円**を控除した結果、営業損失は**8億1千万円**となりました。

営業損失に営業外収益**13億円**を加え営業外費用**1億3千万円**を控除した結果、経常利益は**3億6千万円**となり、前年度より**1億9千万円**の減少となりました。経常利益から特別損失を控除した結果、当期純利益は**3億6千万円**となっており、前年度より**1億9千万円**の減少となりました。

なお、経常利益のうち、**3億4千万円**は企業債償還金に起因する下水道事業の資金不足を補填するための基準外繰入金(一般会計補助金)であり、経常利益から基準外繰入金を除いた場合は**1千万円**の利益となっております。

3 補填財源

資本的収入・支出

(令和5年4月1日から令和6年3月31日まで)

【不足額】 13億6千万円	【資本的支出】 31億5千万円 建設改良費 20億円 企業債償還金 11億5千万円
【補填財源】 <ul style="list-style-type: none"> ・当年度利益剰余金 3億3千万円 ・当年度分損益勘定留保資金 4億1千万円 ・企業債 5億4千万円 ・消費税資本的収支調整額 8千万円 	
【資本的収入】 17億9千万円	

資本的収入が資本的支出に不足する額**13億6千万円**は、損益計算書において計上した当期純利益**3億6千万円**から生じた利益剰余金の取り崩し額や、費用・損失のうち現金支出の伴わない減価償却費から生じる損益勘定留保資金**4億1千万円**等で補填しています。

4 経営成績に関する指標

経費回収率

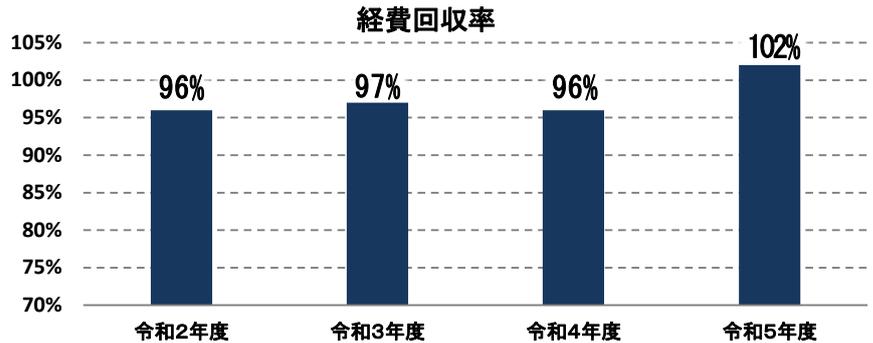
下水道使用料で回収すべき経費をどの程度使用料で賄えているかを表します。

【下水道使用料÷汚水処理費】

類似団体平均値
(令和4年度)

91%

令和4年度		令和5年度
96%	6% (↗)	102%



今期の経費回収率は、主に相模川流域下水道維持管理負担金の減による支出の減少により昨年度比**6ポイント増の102%**となり、健全経営の水準とされる**100%**を上回りました。

中長期的な視点では、人口減少等による使用料収入の減少や維持管理費の増加が見込まれるため、汚水処理費の削減や適正な下水道使用料の確保等の経営改善を進め、下水道施設の更新に必要な資金の確保に取り組む必要があります。

5 貸借対照表

(決算日時点のストックの状況)

貸借対照表 (令和6年3月31日時点)

有形固定資産 土地、建物、構築物等	無形固定資産 施設利用権等	投資その他の資産 出資金	現金預金、未収金	固定資産 364億6千万円	企業債	固定負債 67億9千万円
					1年以内償還企業債、未払金、賞与引当金他	流動負債 30億4千万円
					長期前受金	繰延収益 237億円
					資本金、資本剰余金、利益剰余金	資本金、剰余金 42億3千万円
流動資産 13億円						

貸借対照表の内訳としては、資産のうち**97%**は固定資産により構成されています。

一方、負債は、固定資産取得時の財源である繰延収益が**63%**、企業債（1年以内償還含む）が**21%**を占めています。

企業債残高については、償還が進んでいるため年々減少しております。

資産のうち、固定資産**364億6千万円**は、主に有形固定資産である下水道管きょ、終末処理場施設及び下水道用地で構成され、流動資産**13億円**は、現金預金及び未収金で構成されています。

負債のうち、固定負債**67億9千万円**は、令和7年度以降に償還予定の企業債、流動負債**30億4千万円**は、主に令和6年度中に償還予定の企業債や工事・委託の未払金、繰延収益**237億円**は、償却資産の財源である長期前受金から構成されています。

また、資本金、剰余金については、資本金**2億8千万円**、資本剰余金**18億円**及び利益剰余金**21億5千万円**により構成されています。

6 当年度の主な建設改良事業

(1) 建設工事の概況

工 事 名	工 事 内 容	工事費 (円)	契約年月日	竣工年月日
綾瀬終末処理場消化施設等整備事業設計・建設工事 (深谷南5丁目地内)	汚泥濃縮減容化設備設計・工事、脱水乾燥設備設計・工事	1,786,400,000	令和3年 11月19日	令和6年 3月22日
令和5年度第47処理分区枝線整備工事 (吉岡地内)	汚水管整備 工事延長323.6m 取付管11カ所	55,702,900	令和5年 10月16日	令和6年 4月19日 (令和6年度繰越)

(2) 改良工事の概況

工 事 名	工 事 内 容	工事費 (円)	契約年月日	竣工年月日
令和4年度管路施設耐震工事 (明許) (早川地内)	武者寄橋サイフォン下流側人孔耐震補強工事	21,780,000	令和5年 11月28日	令和6年 3月25日

7 整備状況

項 目	単位	5年度末 (R6年4月1日現在)	4年度末 (R5年4月1日現在)
①全体計画処理面積	h a	1,743	1,743
②事業認可処理面積	h a	1,155	1,155
③整備面積	h a	1,104.5	1,102.1
下水道認可整備率③÷②	%	95.6	95.4
④整備人口	人	78,194	79,481
⑤住民基本台帳人口	人	82,767	84,241
行政人口普及率④÷⑤	%	94.5	94.3
⑥市街化区域内整備人口	人	77,060	78,300
⑦市街化区域内人口	人	77,287	78,559
市街化区域内人口普及率⑥÷⑦	%	99.7	99.7